

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 1年 1学期

おたんじょうびかいをしよう！ (2時間)		
ねらい	学級全員で誕生日会をするよさを基に、誕生日会の内容について話し合い、よりよい集会の内容を集団決定するとともに、協力して集会を行うことによって、学級全員で誕生日を祝う集会の楽しさを味わう。	
評価規準	(①知・技) 誕生日会の内容についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 誕生日会の内容について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、お誕生日会の内容について話し合ったり誕生日会を行ったりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○議題への関心をもてるように、幼稚園や保育園での誕生日会を振り返る時間を設定する。
第1時	○友達の誕生日を祝うことを目的とした集会の内容について話し合う。 ○集会の内容を集団決定する。	○具体的な内容を考えられるように、一人一人が石山で遊んでいる写真やみんなでしっぽ取りをしている写真を提示する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。
第2時	○計画したことを基に、楽しく誕生日会をする。 ○楽しく誕生日会ができたことを振り返り、感想を発表し合う。	○集会に積極的に参加できるように、集会のめあてやルール等について確認するよう促す。 ○日常生活に生かそうという意欲をもてるように、友達を祝う気持ちを表せたことを称賛する。
事後	○みんなで活動する楽しさを日常生活に生かしていく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
<b>【備考】</b> ・4月から7月までに生まれた子どもたちの誕生日会とする。 ・話し合う内容は遊びとすることが望ましい。 ・合科-生活科「ともだちになろう」で学習した仲間づくりゲームの遊びを例示する。 ・関連-道徳科「たいせつないのち」		

きもちよくとれをつかおう (1時間)		
評価規準	(①知・技) トイレを使う時に気を付けることについての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) トイレを使う時に気を付けることについて話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、トイレを使う時に気を付けることについて話し合ったり決めたことを守ってトイレを使ったりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○議題への関心をもてるように、トイレの正しい使い方に関する写真を提示する。
本時	○トイレを使った経験を発表し合い、トイレをきれいに使うことのよさを知る。 ○トイレを使う時に気を付けるとよいことについて話し合う。 ○トイレを使う時に学級で気を付けることについて決める。	○話し合いへの意欲を高められるように、きれいなトイレの写真を提示する。 ○具体的に気を付けることを考えられるように、手洗いの仕方等の模擬活動を行うよう促す。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。
事後	○全体で決めたことに気を付けて生活する。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
<b>【備考】</b> 単元一覧にはないが必要に応じて実施する。		

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 1年 1学期

みんなできゅうしょくをじゅんびしよう (1時間)			
ねらい	給食を協力して準備することのよさを知り、配膳で気を付けることについて話し合い、配膳の時の約束を集団決定するとともに、決めたことを守って協力して配膳に取り組むことの充実感を味わう。		
評価規準	(①知・技) 給食の配膳で気を付けることについての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 給食の配膳で気を付けることについて話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、給食の配膳で気を付けることについて話し合ったり決めたことを守って給食当番をしたりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○議題への関心をもてるように、幼稚園の時の給食を振り返る時間を設定する。	
本時	○6年生の配膳の様子から見付けた上手な配膳の仕方を発表し合い、給食を協力して準備することのよさを知る。 ○みんなが楽しい気持ちで配膳するために、気を付けなければいけないことについて話し合う。 ○配膳の時の約束を決める。	○話し合いへの意欲を高められるように、お手伝いに来ている6年生の配膳の様子の写真を提示する。 ○具体的に気を付けることを考えられるように、エプロンや帽子、マスク等の身支度の仕方や並んで配膳を待つこと等の模擬活動を行うよう促す。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇配膳で気を付けることについて発言している。 <発言①②③>
事後	○決めたことを守って、協力して配膳に取り組む。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・給食の準備を行うようになってからしばらくして位置付ける。 ・関連-生活科「がっこうたんけんをしよう」(給食室や栄養士のことを想起させ、よい身支度の仕方や作ってくれる人の気持ちを考えるとよい。)			

そうじのしかたをおぼえよう (1時間)			
ねらい	自分たちで掃除をすることの大切さを知り、自分たちにできる掃除の仕方について話し合い、掃除の仕方や約束を集団決定するとともに、決めたことを守って協力して掃除に取り組むことの充実感を味わう。		
評価規準	(①知・技) 掃除の仕方についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 掃除の仕方について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、掃除の仕方について話し合ったり決めたことを守って掃除をしたりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○議題への関心をもてるように、6年生の掃除の仕方を観察する時間を設定する。	
本時	○6年生の掃除の様子から見付けた上手な掃除の仕方を発表し合い、自分たちで掃除をすることの大切さを知る。 ○自分たちで掃除の仕方について話し合う。 ○掃除の作業の順番や用具の使い方について取り組んでいくことを決める。	○話し合いへの意欲を高められるように、お手伝いに来ている6年生の清掃の様子の写真を提示する。 ○具体的な掃除の仕方を考えられるよう、掃除の場面での模擬活動を行うよう促す。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇掃除の作業の順番や用具の使い方について発言している。 <発言①②③>
事後	○決めたことを守って、協力して掃除に取り組む。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・掃除の準備を行うようになってからしばらくして位置付ける。			

学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 1年 1学期

がっこうのいきかえり		5月(1時間)	
ねらい	安全に登下校することの大切さを知り、登下校の仕方について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに、一人一人が実行し、安全な生活を送る。		
評価規準	(①知・技)安全に登下校することの大切さを理解し、登下校の仕方について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)登下校の仕方についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、登下校の仕方について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○題材への関心をもてるように、交通安全教室で学んだ交通ルールの大切さを想起できる資料を提示する。	
本時	○学校周辺で危険な交差点等を発表し合い、安全に登下校することの大切さを知る。 ○安全に登下校の仕方について、根拠を明らかにして話し合う。 ○安全に登下校するために自分が気を付けていきたいことを決める。	○問題意識を高められるように、交通事故の危険がありそうな場所の写真を提示する。 ○安全に登下校の仕方について具体的に話し合えるように、模擬活動を行うよう促す。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの気を付けていくことが決められた子どもを称賛する。	◇安全に登下校の仕方について発言している。 <発言①②③>
事後	○約束したことを、登下校の時に実行する。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・関連—学年の交通安全教室の後に行く。			

とけいにあわせてせいかつしよう		5月(1時間)	
ねらい	時刻を守って生活することのよさを知り、時計に合わせた生活の仕方について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った生活の仕方を決定するとともに、一人一人が実行し、きまりを守って気持ちよく生活を送る。		
評価規準	(①知・技)時刻を守って生活することの大切さを理解し、時計に合わせた生活の仕方について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)時計に合わせた生活の仕方についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、時計に合わせた生活の仕方について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○題材への関心をもてるように、授業が始まる前の学級の写真を提示する。	
本時	○時計を見て、授業開始時刻を確かめ合い、時刻を守って生活することのよさを知る。 ○時計に合わせた生活の仕方について、根拠を明らかにして話し合う。 ○時計に合わせて生活するために、自分で取り組むことを決める。	○問題意識を高められるように、長針を表した時計を提示する。 ○時計に合わせた生活の仕方について具体的に話し合えるように、授業が始まる前に席に着く等の模擬活動を行うよう促す。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの取組が決められた子どもを称賛する。	◇時計に合わせた生活の仕方について発言している。 <発言①②③>
事後	○時計や放送に合わせて生活する。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】			

きょうしつであそぶとき		6月(1時間)
ねらい	安全に教室で過ごすことの大切さを知り、教室で過ごす時に気を付けることについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合った約束を決定するとともに、一人一人が実行し、安全で気持ちのよい生活を送る。	
評価 規準	(①知・技) 安全に教室で過ごすことの大切さを理解し、教室で過ごす時に気を付けることについて自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 教室で過ごす時に気を付けることについての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、教室で過ごす時に気を付けることについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。	
	活動内容	指導上の留意点
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○題材への関心をもてるように、今までやってきた雨の日の遊びを振り返る時間を設定する。
本時	○今までやってきた雨の日の遊びを紹介し合い、雨の日に安全に教室で過ごすことの大切さを知る。 ○教室内で遊ぶ時に、注意しなければならないことを根拠を、明らかにして話し合う。 ○安全に遊ぶために、自分で取り組むことを決める。	○問題意識を高められるように、雨の日の教室の様子が分かる写真やVTRの資料を提示する。 ○注意することについて具体的に話し合えるように、模擬活動を行うよう促す。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの取組が決められた子どもを称賛する。
事後	○雨の日に、自分たちが考えた約束を守って遊びを実行する。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。
【備考】		

◇安全であることや、自分に合っていること等の観点に沿って、根拠を明らかにして発言している。 <発言①②③>

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 1年 1学期

Iねんせいになって		4月(1時間)	
ねらい	学級内にあるみんなが使うものを知り、それらの使い方について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った使い方を決定するとともに、一人一人が実行し、気持ちよく生活を送る。		
評価 規準	(①知・技) 学級内にあるみんなが使うものを知り、それらの使い方について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 学級内にあるみんなが使うものの使い方についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、学級内にあるみんなが使うものの使い方について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○題材への関心をもてるように、学級内にあるものの名前と使い方を絵カードで提示する。	
本時	○学級内にあるものを確認し、自分で使うものとみんなで使うものがあることを知る。 ○机やロッカーなどのよりよい使い方について、根拠を明らかにして話し合う。 ○学級内にあるものについて、自分の使い方を決める。	○問題意識を高められるように、学級内にあるもののモデルや絵カード等を提示しながら説明する。 ○よりよい使い方について具体的に話し合えるように、模擬活動を行うよう促す。 ○実践への意欲を高められるように、自分に合った使い方が決められた子どもを称賛する。	◇友達に迷惑をかけないことや自分に合っていること等の観点に沿って、根拠を明らかにして発言している。 <発言①②③>
事後	○使い方を日常生活で実行する。	○今後の生活の仕方を意識できるように、定期的実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・導入で、学級活動のオリエンテーションを行う。 ・1年生では、発達段階を考え実態に応じた話し合い活動が行われるよう考慮する。「ともに分かるプロジェクト」を基に、話し合いの進め方等を徐々に身に付けていけるようにする。			

たのしいメディアルーム		6月(1時間)	
ねらい	メディアルームを正しく利用して読書をするのよさを知り、本を借りたり読んだりする時に気を付けることについて根拠を明らかにして話し合い、自分が気を付けていくことを決定するとともに、一人一人が実行し、本と触れ合って気持ちよく生活を送る。		
評価 規準	(①知・技) メディアルームを正しく利用して読書をするのよさを知り、本を借りたり読んだりする時に気を付けることについて自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 本を借りたり読んだりする時に気を付けることについての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、本を借りたり読んだりする時に気を付けることについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○題材への関心をもてるように、学校探検の際に、メディアルームの様子を見学する時間を設定する。	
本時	○メディアルームについて、司書教諭からその特徴や利用の仕方についての話を聞き、メディアルームを正しく利用して読書することのよさを知る。 ○メディアルームを利用する時に気を付けることを、根拠を明らかにして話し合う。 ○メディアルームを利用する時に、自分が気を付けていくことを決める。	○問題意識を高められるように、実際にメディアルームに行き、司書教諭の話を聞く場を設定する。 ○利用する時に気を付けることについて、具体的に話し合えるように、模擬活動を行うよう促す。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりに気を付けていくことを決められた子どもを称賛する。	◇周りの人が気持ちよく読書できる、本を大切にできる等の観点に沿って、根拠を明らかにして発言している。 <発言①②③>
事後	○自分たちが考えた気を付けることを守って、メディアルームを利用する。	○今後の生活の仕方を意識できるように、定期的実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・司書教諭とTTで行う。 ・合科-生活科「がっこうをたんけんしよう」(メディアルームの特徴を想起させるとよい。)			

はじめてのなつやすみ		7月(1時間)
ねらい	初めての夏休みをめあてをもって過ごすことよさを知り、夏休みのめあてについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合っためあてを決定するとともに、一人一人が実行し、楽しい夏休みを送る。	
評価 規準	(①知・技) 夏休みをめあてをもって過ごすことよさを知り、夏休みのめあてについて自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 夏休みのめあてについての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、夏休みのめあてについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。	
	活動内容	指導上の留意点
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○題材への関心をもてるように、夏休み中の行事や期間を伝える。
本時	○夏休みをめあてをもって過ごすことよさを 知る。 ○夏休みのめあてについて、学習面、生活面 から根拠を明らかにして話し合う。 ○夏休みのめあてを決め、「○○のなつやす み」に書く。	○問題意識を高められるように、夏休みをめあてをもって過ごす ことよさについて助言する。 ○夏休みにふさわしいめあてになるように、夏休みだからこそで きることや、よりよい時間の使い方等について助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてが決めら れた子どもを称賛する。
事後	○計画に基づいて夏休みを過ごし、自己評価 する。	○今後の生活の仕方を意識できるように、夏休み明けに実践の成 果や課題を伝え合う時間を設定する。
【備考】 ・「○○のなつやすみ」を準備しておく。		

◇夏休みのめあてについて発言したり、記述したりしている。  
 <発言・○○のなつやすみ①②③>

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 1年 2学期

かかりのしごとをみつけよう (1時間)		
ねらい	学級内の仕事を分担して取り組むよさを基に、学級に適した係について根拠を明らかにして話し合い、係とその仕事内容を集団決定するとともに、毎日の係活動に取り組むことによって、全員で仕事を分担し、協力して取り組む楽しさを味わう。	
評価 規準	(①知・技) 学級に適した係についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 学級に適した係について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、学級に適した係について話し合ったり係の仕事を行ったりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、係の仕事の例を提示する。
第1時	○係の仕事に適しているものを根拠を明らかにして話し合う。 ○学級に適した係を決める。	○一人一人が根拠をもって発言できるように、「学級の役に立つ」「自分たちでできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、次時は計画を立てることを伝えたりする。
第2時	○自分がやりたい係を決め、活動の計画を立てる。	○具体的な活動の計画を立てられるように、係の仕事の内容や進め方について助言する。
事後	○計画に沿って、係の仕事に取り組む。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
【備考】 ・係のメンバーや仕事内容を書いたポスター等を掲示する。		

うんどうかいをがんばろう (1時間)		
ねらい	学級全員で運動会に取り組むことのよさを基に、参加する態度や応援する態度について根拠を明らかにして話し合い、運動会への取組を集団決定するとともに、協力して取り組むことによって、運動会を全員でがんばることの充実感を味わう。	
評価 規準	(①知・技) 運動会に参加する態度や応援する態度についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 運動会に参加する態度や応援する態度について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、運動会に参加する態度や応援する態度について話し合ったり運動会に参加したりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、運動会に協力して取り組んでいる場面や友達と応援している場面の写真を提示する。
本時	○参加する態度や応援する態度について、根拠を明らかにして話し合う。 ○運動会で頑張っていくことを決める。	○一人一人が根拠をもって発言できるように、「自分ができる」「楽しい運動会になる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、運動会に向けて励ましたりする。
事後	○決めたことを基に、運動会の練習や運動会に積極的に参加する。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
【備考】		

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 1年 2学期

きょうせいのせんせいとおわかれかいをしよう (2時間)		
ねらい	実習生に感謝の気持ちを伝えることのよさを基に、実習生とのお別れ会の内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい集会の内容を集団決定するとともに、協力して集会を行うことによって、実習生に感謝の気持ちを伝える集会の楽しさを味わう。	
評価規準	(①知・技) 実習生とのお別れ会の内容についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 実習生とのお別れ会の内容について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、実習生とのお別れ会の内容について話し合ったりお別れ会に参加したりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、実習生にお世話になったことや、楽しかったことを振り返る時間を設定する。
第1時	○お別れ会の内容について、根拠を明らかにして話し合う。 ○お別れ会の内容を決める。	○一人一人が根拠をもって発言できるように、「感謝の気持ちが伝えられる」「みんなが楽しめる」等の話し合いの視点を提示する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。
第2時	○計画したことを基に、楽しくお別れ会を行う。 ○楽しくお別れ会ができたことを振り返り、感想を発表し合う。	○集会に積極的に参加できるように、集会のめあてやルール等について確認するよう促す。 ○日常生活に生かそうという意欲をもてるように、実習生に感謝の気持ちを表せたことを称賛する。
事後	○感謝の気持ちを伝えるよさを、日常生活に生かしていく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
【備考】		

「ともにわかる」クラスにしよう (1時間)		
ねらい	「ともに分かる」クラスにすることで互いに高め合うことができるよさを基に、分かり合うクラスにするための方法について根拠を明らかにして話し合い、みんなで実行していくことを集団決定するとともに、学級全体で協力して取り組むことによって、自分たちで生活をよりよくする充実感を味わう。	
評価規準	(①知・技) 「ともに分かる」クラスにするための方法についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 「ともに分かる」クラスにするための方法について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、「ともに分かる」クラスにするための方法について話し合ったり決めたことを守って学習に取り組んだりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、「ともにわかって」の掲示の内容を確認する時間を設定する。
本時	○「ともに分かる」クラスにしていくことのよさを知る。 ○「ともに分かる」クラスにしていくためにみんなで取り組んでいくことについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○学級全体で取り組むことを決める。	○話し合いへの意欲を高められるように、「ともに分かる」クラスにしていくことのよさを助言する。 ○取り組むことを具体的に考えられるように、「ともにわかって」の振り返りの項目を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。
事後	○決定したことを学級全体で実行する。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
【備考】 ・Google form 「ともにわかって」の振り返りシートを活用するとよい。		

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 1年 2学期

ぶうるにはいるとき (1時間)			
ねらい	約束を守ってプールに入ることの大切さを知り、プールに入る時の約束について根拠を明らかにして話し合い、約束を集団決定するとともに、決めたことを守って安全に気持ちよくプールを利用することの楽しさを味わう。		
評価規準	(①知・技) プールに入る時の約束についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) プールに入る時の約束について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、プールに入る時の約束について話し合ったり決めたことを守ってプールを利用したりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○議題への関心をもてるように、プールに入るまでの順番や出る順番を提示する。	
本時	○プールに入る際の約束を確認し、約束を守ってプールに入ることの大切さを知る。 ○プールに入る上で守らなければならない約束について、根拠を明らかにして話し合う。 ○楽しく安全にプールに入るために、学級で守っていく約束を決める。	○話し合いへの意欲を高められるように、プールに入るときの様子を示す絵カードやVTR資料を提示する。 ○具体的な約束を考えられるように、プールでの移動の仕方や並び方等の模擬活動を行うよう促す。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇プールに入る時に守らなければならない約束について発言している。 <発言①②③>
事後	○プールに入る時の約束を守って、プールを利用する。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・実際にプールに行き、確認できるようにしてもよい。			

おたんじょうびかいをしよう2 (2時間)			
ねらい	学級全員で誕生日会をすることのよさを基に、内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい誕生日会の内容を集団決定するとともに、協力して誕生日会を行うことによって、学級全員で行うことの楽しさを味わう。		
評価規準	(①知・技) お誕生日会の内容についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) お誕生日会の内容について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、お誕生日会の内容について話し合ったりお誕生日会を行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、1学期のお誕生日会の写真や感想を提示する。	
第1時	○友達の誕生日を祝うことを目的とした集会の内容について、根拠を明らかにして話し合う。 ○集会の内容を集団決定する。	○一人一人が根拠をもって発言できるように、「みんなで楽しめる」「祝う気持ちが伝えられる」等の話し合いの視点を提示する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、集会に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言している。 <発言①②③>
第2時	○計画したことを基に、楽しく集会活動をする。 ○楽しかったことを発表し合う。	○集会に積極的に参加できるように、話し合いで決まったことやルールについての確認をする。 ○日常生活に生かそうという意欲を高められるように、楽しく集会ができたことを称賛したり、これからの生活に向けて励ましたりする。	◇計画に基づいて、楽しく集会活動を行っている。 <行動③>
事後	○誕生日会を振り返り、みんなで活動する楽しさを日常生活に生かしていく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】			

学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 1年 2学期

つくえの中はきれいかな		9月(1時間)
ねらい	机の中を整理し、使いやすさを保つことのよさを知り、机の中の整理整頓の仕方について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った工夫を決定するとともに、一人一人が実行し、整理整頓をして気持ちよく生活を送る。	
評価規準	(①知・技) 机の中を整理し、使いやすさを保つことのよさを知り、机の中の整理整頓の仕方について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 机の中の整理整頓の仕方についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、机の中の整理整頓の仕方について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。	
	活動内容	指導上の留意点
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、自分が使っている机の中の様子を振り返る時間を設定する。
本時	○自分たちの机の中と写真を比べ、机の中を整理し、使いやすさを保つことのよさを知る。 ○机の中の配置の工夫について、根拠を明らかにして話し合う。 ○机の中の配置の工夫について、自分が取り組んでいくことを決める。	○問題意識を高められるように、自分の机の中ときれいな机の中を示した写真資料を比較するよう促す。 ○一人一人が根拠をもって発言できるように、「机の中をきれいに保てる」「自分でできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの取組が決められた子どもを称賛したり、励ましたりする。
事後	○自分の机の中を整理・整頓して使っていく。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。
【備考】		

じょうずな手洗い(養護教諭とのTT)		10月(1時間)
ねらい	健康に生活することのよさを知り、上手な手洗いの方法について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに、一人一人が実行し、健康な生活を送る。	
評価規準	(①知・技) 健康に生活することのよさを知り、上手な手洗いの方法について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 上手な手洗いの方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、上手な手洗いの方法について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。	
	活動内容	指導上の留意点
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、手本となる手洗いの仕方を水道前に掲示する。
本時	○手洗いの大切さについての話を聞き、手洗いチェックをして、自分の手洗いの状況を知る。 ○上手な手洗いの方法について、根拠を明らかにして話し合う。 ○上手な手洗いの方法について、自分で取り組んでいく方法を決める。	○問題意識を高められるように、手洗いの実験をしたり、手洗いの大切さについて養護教諭から話してもらったりする。 ○一人一人が根拠を明らかにして話し合えるように、「実際にきれいな」「誰でもできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分が取り組んでいく方法が考えられた子どもを称賛したり、励ましたりする。
事後	○毎日の生活の中で、上手な手洗いを実行していく。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。
【備考】 ・養護教諭と連絡を取り合って指導を進める。授業もTTで行う。 ・ブラックライトの照射による手洗い実験を行うとよい。		

学級活動 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 1年 2学期

しらない人にきをつけよう		11月(1時間)	
ねらい	安全に生活することの大切さを知り、不審者に出会わない工夫や、不審者に出会ったときの対処の仕方について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った工夫や対処の仕方 を決定するとともに、一人一人が実行し、安全な生活を送る。		
評価 規準	(①知・技) 安全に生活することの大切さを知り、不審者に出会ったときの対処の仕方について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 不審者に出会ったときの対処の仕方についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、不審者に出会ったときの対処の仕方について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、身近に 起こっている事件等について紹介する。	
本時	○「いかのおすし」について確認し、安全に生活することの大切さを知る。 ○危険に出会わない工夫や、出会ったときの対処の仕方について、根拠を明らかにして話し合う。 ○安全に生活することについて、自分がこれから取り組んでいく方法を決める。	○問題意識を高められるように、「いかのおすし」や学期末の警察の方の話がまとまった短冊を提示する。 ○一人一人が根拠をもって発言できるように、「一人でできる」「危ない目に遭いにくい」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの取組が決められた子どもを称賛したり、注意を促したりする。	
事後	○自分で決めた危険から自分の身を守る行動の仕方を、登下校時に実行していく。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】			

すききらいなくたべよう(学校栄養士とのTT)		11月(1時間)	
ねらい	好き嫌いなく何でも食べることのよさを知り、好き嫌いなく何でも食べる工夫について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った工夫を決定するとともに、一人一人が実行し、好き嫌いなく食べて健康な生活を送る。		
評価 規準	(①知・技) 好き嫌いなく何でも食べることのよさを知り、好き嫌いなく何でも食べる工夫について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 好き嫌いなく何でも食べる工夫についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、好き嫌いなく何でも食べる工夫について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、学級の残食の写真を提示する。	
本時	○給食の時の様子を振り返り、好き嫌いなく食べることの大切さについての話を聞く。 ○好き嫌いなく何でも食べる工夫について、根拠を明らかにして話し合う。 ○好き嫌いなく食べる工夫について、自分が取り組んでいくことを決める。	○問題意識を高められるように、給食の残飯についての資料を提示したり、好き嫌いなく食べることの大切さについて栄養士から話をしてもらったりする。 ○一人一人が根拠をもって発言できるように、「誰でもできる」「何でも食べられる」「毎日続けられる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分が取り組むことを考えられた子どもを称賛したり、励ましたりする。	
事後	○好き嫌いなく食べる工夫を、毎日の食事の中で実行していく。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・学校栄養士と連絡を取り合って指導を進める。授業もTTで行う。 ・RO3は給食試食会後に実施した。			

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 1年 2学期

2がっきのめあてをつくろう		8月(1時間)	
ねらい	めあてをもって過ごすことよさを知り、2学期にがんばっていきたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分のめあてを決定するとともに、一人一人が実行し、めあてを意識した生活を送る。		
評価基準	(①知・技)めあてをもって2学期を過ごすことよさを知り、2学期にがんばっていきたいことについて自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)2学期にがんばっていきたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、2学期にがんばっていきたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、1学期のめあてを振り返る時間を設定する。	
本時	○1学期に自分のがんばったことを発表し合い、めあてをもって過ごすことよさを知る。 ○2学期にがんばっていきたいことについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてをカードに書く。	○問題意識を高められるように、1学期のめあての達成度を問いかける。 ○一人一人が根拠をもって発言できるように、「2学期の学習や生活に合っている」「がんばれば達成できる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてが考えられた子どもを称賛したり、励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分のめあてを発言したり、記述したりしている。 <発言・めあてカード①②③>
事後	○自分のめあてに基づいて生活する。	○今後の生活の仕方を意識できるように、学期末に実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
<b>【備考】</b> ・めあてを書くカードを準備しておく。 ・「キャリアパスポート」に、○○の夏休みと2学期の学校生活の振り返りを入れる。			

ふゆ休みのけいかくをつくろう		12月(1時間)	
題材のねらい	めあてをもって冬休みを過ごすことよさを知り、冬休みのめあてについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合っためあてを決定するとともに、一人一人が実行し、楽しい冬休みを送る。		
評価基準	(①知・技)めあてをもって冬休みを過ごすことよさを知り、冬休みにがんばりたいことについて自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)冬休みにがんばりたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、冬休みにがんばりたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、冬休み中の行事や期間を伝える。	
本時	○冬休みの生活について知り、めあてをもって冬休みを過ごすことよさを知る。 ○冬休みのめあてについて学習面、生活面から根拠を明らかにして話し合う。 ○冬休みのめあてを考え、「○○のふゆ休み」に記入する。	○問題意識を高められるように、夏休みにがんばったことを問いかける。 ○一人一人が根拠をもって発言できるように、「冬休みに合っている」「規則正しい生活ができる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてを考えられた子どもを称賛したり、励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして冬休みのめあてについて発言したり、記述したりしている。 <発言・○○のふゆ休み①②③>
事後	○計画に基づいて冬休みを過ごし、自己評価する。	○今後の生活の仕方を意識できるように、冬休み明けに実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
<b>【備考】</b> ・「○○のふゆ休み」を準備しておく。			

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 1年 3学期

3がっきのかかりをきめよう (1時間)		
ねらい	学級の係活動を見直していくことのよさを基に、3学期につくる係について根拠を明らかにして話し合い、係とその仕事内容を集団決定するとともに、毎日の係活動に取り組むことによって、全員で仕事を分担、協力して取り組む楽しさを味わう。	
評価 規準	(①知・技) 学級に適した係についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 学級に適した係について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、学級に適した係について話し合ったり係の仕事を行ったりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、2学期の係活動の成果や課題を伝える。
本時	○一人一人が根拠を明らかにして話し合えるように、「学級の役に立つ」「自分たちでできる」等の視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、これからの取組を励ましたりする。	◇ <b>学級のためになる係を発言したり、自分から進んで活動の計画を立てたりしている。</b> <発言・係ポスター①②③>
事後	○決まった係の仕事に、日常生活の中で取り組む。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
<b>【備考】</b> ・係のメンバーや仕事内容を書いたポスター等を掲示する。		

学しゅうはっぴょうかいをつくろう (1時間)		
ねらい	学級全員で学習発表会を創りあげるよさを基に、発表内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい内容を集団決定するとともに、協力して学習発表会に取り組むことによって、学級全員で充実感を味わう。	
評価 規準	(①知・技) 学習発表会の内容についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 学習発表会の内容について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、学習発表会の内容について話し合ったり発表を行ったりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、昨年の学習発表会の写真を提示したり、学習発表会のよさを伝えたりする。
本時	○一人一人が根拠を明らかにして話し合えるように、「みんなできる」「一年間の成果が出る」等の視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、本番に向けて励ましたりする。	◇ <b>話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言している。</b> <発言①②③>
事後	○協力して練習し、学習発表会を行う。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
<b>【備考】</b> ・話し合う内容としては、歌う歌や役割分担等が考えられる。 ・関連一学校行事「学習発表会」		

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 1年 3学期

かかりをくふうしよう		(1時間)	
ねらい	係活動をさらに工夫することのよさを基に、係活動をよりよくする方法について根拠を明らかにして話し合い、これからの係活動で取り組んでいくことをそれぞれの係で集団決定するとともに、係活動を改善して取り組めたことへの充実感を味わう。		
評価 規準	(①知・技) 係活動をよりよくする方法についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 係活動をよりよくする方法について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、係をよりよくする方法について話し合ったり係の仕事を行ったりしようとしている。		
活動内容		指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、お互いの係活動のよいところや改善して欲しいことについてのアンケート結果を提示する。	
本時	○係活動をよりよくする工夫について、係ごとに根拠を明らかにして話し合う。 ○係ごとに取り組むことを決め、発表し合う。	○一人一人が根拠を明らかにして話し合えるように、「みんなのできる」「学級のためになる」等の視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の取組に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言している。 <発言①②③>
事後	○学年末まで係の仕事にしっかりと取り組む。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】			

よりよい学きゅうにしよう		(1時間)	
ねらい	よりよい学級にすることのよさを基に、学級全体で取り組んでいくことについて根拠を明らかにして話し合い、具体的な取組を集団決定するとともに、協力して生活することによって、学級の生活を向上させる充実感を味わう。		
評価 規準	(①知・技) よりよい学級にするために学級全体で取り組んでいくことについての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) よりよい学級にするために学級全体で取り組んでいくことについて話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、よりよい学級にするために学級全体で取り組んでいくことについて話し合ったり決めたことに取り組んだりしようとしている。		
活動内容		指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、学級生活を振り返ってよりよくしていきたいことについてのアンケート結果を提示する。	
本時	○よりよい学級にするために、取り組んでいくことを根拠を明らかにして話し合う。 ○学級全体で取り組んでいくことを決める。	○一人一人が根拠を明らかにして話し合えるように、「よりよい学級になる」「みんなのできる」等の視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言している。 <発言①②③>
事後	○決定したことを基に、よりよい学級づくりを実行していく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】			

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 1年 3学期

おたんじょうびかいをしよう3		(2時間)	
ねらい	学級全員で誕生日会をするよさを基に、誕生日会の内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい誕生日会の内容を集団決定するとともに、協力して誕生日会を行うことによって、学級全員で誕生日を祝う集会の楽しさを味わう。		
評価 規準	(①知・技) 誕生日会の内容についての意見を伝えたり聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 誕生日会の内容について話し合い、合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、誕生日会の内容について話し合ったり誕生日会を行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、1, 2学期のお誕生日会の写真や感想を提示する。	
第1時	○友達の誕生日を祝うことを目的とした誕生日会の内容について、根拠を明らかにして話し合う。 ○誕生日会の内容を定める。	○一人一人が根拠を明らかにして話し合えるように、「みんなで楽しむ」「祝う気持ちが伝えられる」等の話し合いの視点を提示する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、誕生日会に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言している。 <発言①②③>
第2時	○計画したことを基に、楽しく誕生日会を行う。 ○楽しかったことを発表し合い、集会をまとめる。	○誕生日会に積極的に参加できるように、前時に決まったことやルールについての確認をする。 ○日常生活に生かそうという意欲を高められるように、楽しく誕生日会ができたことを称賛したり、普段からみんなで楽しく遊ぶように励ましたりする。	◇計画に基づいて、楽しく誕生日会を行っている。 <行動③>
事後	○みんなで活動する楽しさを日常生活に生かしていく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】			
・1月から3月までに生まれた子どもたちのお誕生日会とする。年度末のお楽しみ集会と兼ねてもよい。			

たべたらはみがきしよう (養護教諭とのTT)		2月 (1時間)
ねらい	歯を大切にすることのよさを知り、正しい歯磨きの方法について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに、一人一人が実行し、清潔な歯で気持ちのよい生活を送る。	
評価 規準	(①知・技) 歯を大切にすることのよさを知り、正しい歯磨きの方法について自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 正しい歯磨きの方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、正しい歯磨きの方法について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。	
	活動内容	指導上の留意点
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、歯科検診の結果や歯についての資料等を掲示する。
本時	○染め出しテストを行って自分の歯磨きの状況を確認し、歯を大切にすることのよさを知る。 ○よりよい歯磨きの方法について、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分に合った歯磨きの方法を決める。	○問題意識を高められるように、染め出しテストを設定したり、歯の大切さについて養護教諭の話の聞いたりする。 ○一人一人が根拠をもって発言できるように、「きれいに磨ける」「自分でできる」「毎日続けられる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの方法が決められた子どもを称賛したり、励ましたりする。
事後	○毎日の生活の中で、正しい歯磨きを実行する。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。
<p>【備考】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に養護教諭と連絡を取り合い、染め出しテストの試薬や用具を準備する。授業もTTで行う。(R04は教室を使用)</li> <li>・染め出しテストについて学級通信等で事前に知らせる。(液の成分のこと)</li> <li>・正しい歯磨きの方法について、実際に試す時間がとれるとよい。</li> </ul>		

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 1年 3学期

3がっきのめあてをつくろう		1月(1時間)	
ねらい	めあてをもって過ごすことよさを知り、3学期にがんばっていきたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分のめあてを決定するとともに、一人一人が実行し、めあてを意識した生活を送る。		
評価規準	(①知・技)めあてをもって3学期を過ごすことよさを知り、3学期にがんばっていきたいことについて自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)3学期にがんばっていきたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、3学期にがんばっていきたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容		指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、2学期のめあてを振り返る時間を設定する。	
本時	○2学期のがんばったことを発表し合い、2年生に向けてめあてをもって過ごすことよさを伝える。 ○3学期のめあてについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいくことを決め、カードに書く。	○問題意識を高められるように、3学期の行事や学習内容を伝える。 ○一人一人が根拠を明らかにして話し合えるように、「自分でできる」「2年生への準備になる」等の視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてが考えられた子どもを称賛したり、励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分のめあてを発言したり、記述したりしている。 <発言・めあてカード①②③>
事後	○自分のめあてに基づいて生活していく。	○今後の生活の仕方を意識できるように、学期末に実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・めあてを書くカードを準備しておく。			

はる休みのけいかくをつくろう		3月(1時間)	
ねらい	春休みをめあてをもって過ごすことよさを知り、春休みのめあてについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合っためあてを決定するとともに、一人一人が実行し、楽しい春休みを送る。		
評価規準	(①知・技)めあてをもって春休みを過ごすことよさを知り、春休みにがんばりたいことについて自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)春休みにがんばりたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、春休みにがんばりたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容		指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、春休み中の行事や期間を伝える。	
本時	○この1年間で、自分でできるようになったことを発表し合い、春休みをめあてをもって過ごすことの大切さを伝える。 ○春休みのめあてについて、学習面、生活面から根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてを決め、「○○のはる休み」に書く。	○問題意識を高められるように、2年生に向けて必要な心構えや準備について話を伝える。 ○一人一人が根拠を明らかにして話し合えるように、「実際にできる」「2年生に向けて大切なこと」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてが決められた子どもを称賛したり、励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして春休みのめあてについて発言したり、記述したりしている。 <発言・○○のはるやすみ①②③>
事後	○計画に基づいて春休みを過ごし、自己評価する。	○今後の生活の仕方を意識できるように、春休み明けに実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・「○○のはる休み」を準備しておく。			